

全野研ニュース

全国野菜園芸技術研究会

6月29日発行 第10号

発行所 全野研青年部
全野研 東京事務所
東京都千代田区神田司町2-21
TEL 03-3233-3634
FAX 03-3233-3666
http://www.zenyaken.com
E-mail yasai@zenyaken.com



昨年の第62回兵庫大会から

新技術を活用した「もうかる野菜経営」の実現



大山会長



久保田実行委員長

第63回全国野菜園芸技術研究会実行委員会（久保田順一郎委員長）と全国野菜園芸技術研究会（大山寛会長）は、7月19・20日の両日、群馬県高崎市の高崎市文化会館

7月19日（木）・20日（金）開催
群馬・高崎文化会館で、県内の関連施設視察も

第63回 全国野菜園芸技術研究会 群馬大会

と、県内の野菜生産・出荷施設で、「全国野菜園芸技術研究会 群馬大会」を開催する。

全野研大会は、今年で63回を迎える。消費者・実需者の期待に応える安全・安心でおいしい野菜の生産と、後継者や若手生産者が夢と意欲が持てる魅力ある農業を実践し、野菜園芸経営を安定的・持続的なものにするため、全国の野菜生産者らが一堂に会し研鑽・交流する。

今回は「新技術を活用した『もうかる野菜経営』の実現」をテーマに、これからの良品多収技術、地域環境や条件を活かした特徴ある野菜づくり、開催地群馬の生産・流通・販売の事例を学び、参加者同士の情報交換を促進し、技術向上や経営発展をめざす。

初日の19日は、首都大が「調査データとシミュレーションによる農業被害リスクの見える化」について基調講演。事例発表では、前橋市の堀越徹也氏が「快適でゆとりある大規模キュウリ経営」の掘り起こしをテーマに、これからの良品多収技術、地域環境や条件を活かした特徴ある野菜づくり、開催地群馬の生産・流通・販売の事例を学び、参加者同士の情報交換を促進し、技術向上や経営発展をめざす。

また、会場では園芸機器・資材・種苗の展示会も同時開催し、生産者とメーカーの情報交流の場も設ける。

2日目の20日は、キュウリ高収量技術を試験するJA全農ぐんまの園芸作業生産実証農場と、全国有数規模のナスとキュウリの併用選果場である佐波伊勢崎農協なす・きゅうり選果場で、視察研修を行う。

大山会長は、「この大会を通じて、全国の野菜生産者同士が顔を合わせ交流し、新しい技術や経営手法の事例に学び、参加者の野菜経営や、次世代の若者が農業経営に夢が持てるようにしたい」とコメントしている。

展示企業・団体

朝日工業(株)
AGCグリーンテック(株)
カネコ種苗(株)

久留米原種育成会
埼玉農工機料販売(株)
シンジエンタージャパン(株)

タキゲン製造(株)
タキロンシーアイ(株)
東都興業(株)

東都興業(株)
東都興業(株)
東都興業(株)

東都興業(株)
東都興業(株)
東都興業(株)

東都興業(株)
東都興業(株)
東都興業(株)

東都興業(株)
東都興業(株)
東都興業(株)

東都興業(株)
東都興業(株)
東都興業(株)

東都興業(株)
東都興業(株)
東都興業(株)

東都興業(株)
東都興業(株)
東都興業(株)

東都興業(株)
東都興業(株)
東都興業(株)

東都興業(株)
東都興業(株)
東都興業(株)

東都興業(株)
東都興業(株)
東都興業(株)

東都興業(株)
東都興業(株)
東都興業(株)

大会日程

7月19日(木)

■研究大会(高崎市文化会館)

11:30～ 園芸機器・資材・種苗展示 (～16:00)

11:30～ 受付開始

13:00～ 開会

式典 主催者挨拶・歓迎挨拶・来賓祝辞

感謝状贈呈、野菜園芸功績者表彰

13:40～ 展示見学・休憩

■研究会(高崎市文化会館)

14:10～

●「群馬県の野菜生産」 群馬県農政部

●「10年後、あなたの産地はどうなる？」

～生産性向上と労働力確保に係る生産現場の課題解決に向けて～

清水治弥氏(農林水産省生産局園芸作物課

花き産業・施設園芸振興室課長補佐)

●基調講演「調査データとシミュレーションによる

農業被害リスクの見える化」～病害虫・雑草被害の天気予報～

講師：首都大学東京 大澤剛士准教授

●事例発表①「快適でゆとりある大規模キュウリ経営」～雇用活用と

施設の自動化による1ヘクタール経営の実現～

堀越徹也氏(群馬県前橋市)

②「次世代につながる力強い雨よけトマト産地の振興」

～生産拡大を続けるトマト産地の戦略～

原澤幸二氏(群馬県利根沼田農業事務所)

③「環境制御を活用した新たなイチゴ産地を目指す」

～これからのイチゴ経営モデルの確立～

南 明法氏(群馬県北群馬郡榛東村)

16:35～ 大会決議 次期開催地紹介

■交流懇親会(エテルナ高崎)

18:30～

7月20日(金)

■視察研修(バス移動)

① 全国農業協同組合連合会群馬県本部 園芸作物生産実証農場

～きゅうり高収量技術の実証～

② 佐波伊勢崎農業協同組合 なす・きゅうり選果場

～全国有数規模のなすときゅうりの併用選果場～

べと病、疫病、白さび病を ピシッとロック!

新発売

農林水産省登録 第23952号

殺菌剤

ピカルブトラゾクス水和剤

ピシロック® フロアブル

【登録作物】キャベツ、はくさい、ブロッコリー、レタス、非結球レタス、ほうれんそう、きゅうり、メロン、すいか、トマト、ミニトマト、たまねぎ、だいこん、てんさい



日本曹達株式会社
東京都千代田区大手町2丁目2番1号
☎03-3245-6178 http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

HPはこちらからご覧いただけます▶



① 卵菌類由来の病害に対して高い効力!

② 新規有効成分ピカルブトラゾクス配合!
(FRACコードU17)

③ 収穫前日まで使える!(はくさいは収穫3日前まで)

④ 登録作物への高い安全性!

⑤ 優れた耐雨性!

⑥ 汚れが少なく使いやすいフロアブル剤!

LINEクリエイターズで
スタンプの販売を
開始しました。





第8回 トマト・キュウリサミット

2日間で11件の生産現場報告 土壌消毒や既存ハウス生かす工夫など

全国野菜園芸技術研究会とトマト・キュウリサミット実行委員会（渋谷忠宏委員長）は、1月30・31日の両日、「第8回トマト・キュウリサミット」を東京都江戸川区のタワ一ホール船堀で開催した。

サミットは、第一線で活躍している全国のトマト・キュウリの生産者・経営者が参加して生産・販売・経営の諸問題解決の参考となる新技術や事例等を紹介し、安定的なトマト・キュウリ経営の実現を図ることが目的。8回目となる今回は、「高品質・安定多収生産のヒントがザックザク」のテーマで、2日間通して講演

と技術実証や生産者の経営事例などの報告・発表を行い、北海道から九州まで全国の生産者やJA担当者、試験研究機関・普及関係者ら約400名が参加した。

開会式で、大山寛全野研会長は、「このサミットは若手生産者の『勉強したい、新しい技術・情報を知りたい』という気持ちをに応えて、本会青年部を中心に企画している。農業の活性化は、次の世代が育つかがキーポイントだ。いまは施設園芸・野菜生産の大きな変革期で、技術が進み収量も増えてきたが、まだまだ可能性があると思ってい」と挨拶し、学ぶことの重要性と若い生産者への期待を述べた。

1日目は、農水省生産局園芸作物課清水治弥課長補佐が「施設園芸をめぐる情勢」と題した基調講演と、(一社)食と農の健康研究所の渡辺和彦理事長兼所長による特別講演「野菜とミネラルと健康」を行った。渡辺氏は、これまで有害とされてきた野菜に含まれる硝酸塩に対する見方が近年変化していること、同物質が体内でNO（一酸化窒素）を生成して細菌を死滅させるため、がん抑制など人体に有益な作用をもたらすことなどを説明した。



生産現場からの報告では「農家と歩んだトマトづくり」(栃木県さくら市元栃木県専門技術員大竹勝次氏)、「土壌伝染性病害の防除対策(接ぎ木・土壌消毒)」(新潟県農業総合研究所基盤研究部前田征之氏)、「土壌還元消毒の効果実証ハウス作型すいかの事例」(新潟県新潟市西蒲区大滝哲氏)、「地元消費者に合わせたトマトブランドの確立」(就農6年で経験した農業) (静岡県牧之原市農業生産法人(株)トマトップ 山本恭平氏)、「長生(ながいき)トマトのこれから」(千葉県JA長生施設野菜部会 農事

高品質・安定多収へ 情報交換

組合法人長生フロンティアファーム代表理事石井理永蔵氏。

2日目は、(一社)農業電化協会の田澤信二代表理事が「農業分野における人工光源の応用」について特別講演。

事例報告では、「再点検ハウスの管理・改良・高機能化」のテーマで、パイ

うり養液栽培の技術開発(徳島県美波農業支援センター 清水昇氏)、「基本を重視したトマトの安定経営をめざして」(神奈川県藤沢市 和田政行氏)、「低軒高ハウスにおける『トマト連続3段階心誘引法』による多収・高品質栽培」(栃木県栃木市 柏崎農園 柏崎弘行氏)。

また、両日ともに最新施設資材情報として、全野研賛助会員の資材メーカーが自社製品の特徴や利用方法、導入効果などをプレゼンテーションした。

講演会と併催の園芸資材・種苗・機器を取り扱う展示会では、44の企業・団体が出展し、新品種や防除資材、土作り資材、栽培装置、被覆資材、環境制御機器を展示し、大勢の参加者でにぎわった。

展示企業・団体は以下の通り(順不同)。

JA全農／朝日工業／日本専連／ときわめ研究所／三菱ケミカルアグリドリーム／タキイ種苗／丸善薬品産業／タキロン／アイ／埼玉原種育成会／埼玉農工機販売／日本ワイドクロス／アグロカネショウ／村田農場／東都興業／タキゲン製造／AGCグリーンテック／加藤工業所／エフエムシー／ケミカルズ／丸和バイオケミカル／シンジエン／タジヤパン／生科研／ネボン／久留米原種育成会／久留米種苗園芸／

木紅木／TMR／ベルクアース／トヨタネ／東セラクリエイト／フジック／ロイヤルインダストリス／日本モウルド工業／グリーン・コムジャパン／シーシーエス／アリスタライフサイエンス／星光社／クミアイ化学工業／アクリセクト／ダイオ化成／アクリワークス／(一社)農山漁村文化協会／エス・ティ・エス・バイオテック／ボッシュ

第8回 トマト・キュウリサミット 参加者の声

当日イベントに参加 上げてほしい」

▼「他産地の情報を知ることができ良かった。産地づくりの取組、資材情報なども参考にしたい」という声もあがった。

▼「同じ農業分野でも立場によって考え方は異なるということがわかった。今回の講演の中にもあったが、既存ハウス・施設を改良したいという声もあがっていた。

このほか、ドローンなどの最新技術や販売戦略、GAPに関する講演や事例発表を聞きながら、技術を取り組めるような技術を取り組

がんばれニッポン農業!!

全野研推奨資材・有機JAS適合資材

針葉樹木酢液 **木紅木**

○親苗の苗床と定植ほ場の土壌改良で、根と樹を健康に
○健康な苗づくりで天候に左右されない良食味多収種

キクノール

30倍～500倍

土壌改良材

植物活性液

100%純正

ph2.2～2.8

キクノールとキトサンの流し込みで
高品質を最後まで!!

有限会社 木紅木 福島県いわき市好間町字大畑100 Tel 0246(36) 5016・Fax (36) 2314 http://www.kikumoku.co.jp

耐久無滴農POフィルム

8年耐久

スーパーダイヤスター™

2018年7月発売!

8年耐久

※地域、ハウス構造、気象条件によっては、耐用年数が短くなる場合があります。

1 耐久性

- 8年連続展張を実現しました。
- 新配合剤の採用で更に耐久性(強度・透明性)が高まりました。
- 良好な透明性を保持します。

2 透明性

- 新配合技術によりスッキリした透明感が向上しました。

当社従来品(ダイヤスター)比

品名	透明性(点)
スーパーダイヤスター	8.5
当社従来品(ダイヤスター)	7.5

三菱ケミカルアグリドリーム

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-2-2 三菱ケミカル日本橋ビル
TEL 03-3279-6200 FAX 03-3279-6757
●詳しい資料をご希望の方は、はがき、FAXにてご請求ください。

最新資材情報

いちごの苗を万全の状態に

仕上げて本圃に定植

灌注処理用殺虫剤 ベリマーク®SC

エフエムシー・ケミカルズ株式会社

昨年末、殺虫剤「ベリマーク®SC」が「いちご」に登録取得した。近年、ねぎや果菜類などでの使用

用者から好評をいただいている製品で、有効成分名はシアントラニリプロール（通称サイアジピル®）、IRAC番号は28となっている。

定植後の順調な活着と生育の大敵は、害虫被害によるストレスや葉の食

害による光合成不足である。それらを防ぐためにも苗を定植する前にベリマーク®SCを処理しておくことが重要になる。

ベリマーク®SCは以下の3拍子が揃っており、苗を万全の状態に仕上げて本圃へ定植することができ

①定植前の苗に灌注処理することで「ハスモンヨトウ」「アブラムシ類」に対し定植後約1ヵ月間の効果を発揮する。

②作物への安全性が高く、各種薬剤との混用事例も揃っている。③「カブ

リダニなどの天敵」「ミツバチ」「マルハナバチ」を翌日より放飼可能。さらに、長い残効を生かして、定植後の防除負荷の削減を狙うこともできる。実際の防除効果は試験結果の表を参照されたい。

使用方法是「希釈倍数」「1000倍、使用液量」50ml/株、使用時期「育苗期後半」定植当日、使用回数「1回」となっている。こちらも詳細はラベルを参照されたい。

倉吉農業改良普及所が、J.A鳥取中央の倉吉西瓜生産部と連携し、特産品であるスイカの作業改善に取り組み中であり、平成26年につる引き作業の軽労化に向けた製品開発を開始した。

つる引きは不要な横芽や側枝を除いて着果位置を揃える作業で、高品質

ルとウレタンでできた高さ12cmのサドル型で、面ファスナーで尻に固定し、着けたまま移動が可能。高さ調節は厚さ2cmのスペーサーで行う。体重を預けられるように座面は10度ほど前傾しており、長時間に渡る中腰姿勢を補助することで、作業時にかかる足首付近への圧力を軽減する。

倉吉農業改良普及所が生産者やメーカーへのモニタリング・現地試験・試作品開発を行い、農研機構がアドバイスや科学的な根拠に基づく実証試験を担当する。

なものを作ろうと欠かせないもの。高さ1mのトンネルの中で、正座や片膝立ての姿勢のまま長時間行われる作業は約3ヵ月続き、農業者の足腰に負担がかり重労働となっていた。



正座姿勢でひざや足首にかかる負担を軽減（右）
手で持たずに移動可能（左）

スイカ栽培を軽労化

生産者と2人3脚で

装着型椅子を開発

鳥取県倉吉農業改良普及所
農研機構・農業技術革新工学研究センター

鳥取県倉吉農業改良普及所と農研機構・農業技術革新工学研究センターは、スイカのトンネル栽培におけるつる引き作業の負担を軽減する小型椅子を開発した。

椅子は、発泡スチロールとウレタンでできた高さ12cmのサドル型で、面ファスナーで尻に固定し、着けたまま移動が可能。高さ調節は厚さ2cmのスペーサーで行う。体重を預けられるように座面は10度ほど前傾しており、長時間に渡る中腰姿勢を補助することで、作業時にかかる足首付近への圧力を軽減する。

倉吉農業改良普及所が生産者やメーカーへのモニタリング・現地試験・試作品開発を行い、農研機構がアドバイスや科学的な根拠に基づく実証試験を担当する。

なものを作ろうと欠かせないもの。高さ1mのトンネルの中で、正座や片膝立ての姿勢のまま長時間行われる作業は約3ヵ月続き、農業者の足腰に負担がかり重労働となっていた。

また、つる引き作業の次に重労働である意見の上がったトンネルの支柱運びについても、生産者からアイデアを集約し軽労化に向けた器具を開発している。

担当者は「これまで倉吉西瓜生産部と2人3脚でやっていた作業を楽にして、ベテラン生産者にも長く作り続けていただきたい」「これからは、栽培方式の違いはあるが、全国の産地で広く使用されるようPRしていく」と意気込みを語った。

試験事例

ベリマーク®SCは約1か月の高い効果を発揮します。

●ハスモンヨトウ 90株当たりの幼虫数

試験区	齢期	調査日		
		定植11日後	定植19日後	定植25日後
ベリマーク®SC	若	0	0	0
	中	0	1	0
	老	0	0	0
無処理	若	25	22	48
	中	13	121	32
	老	0	0	20

2016年 和歌山県農業試験場
【試験概要】
品 種：さちのか 発生状況：少発生(放虫)
定 植 日：9月30日 処 理 日：9月27日
処理方法：所定濃度の薬液を育苗ポット(9cm)あたり50mlジョウロで灌注。
調査方法：各区30株についてハスモンヨトウ幼虫数を若齢、中齢、老齢に分け調査。葉害は調査日毎に肉眼で観察。

●アブラムシ類(ワタアブラムシ) 10株当たりの寄生虫数(無翅)

試験区	調査日			
	定植7日後	定植15日後	定植22日後	定植29日後
ベリマーク®SC	0	0	0	0
無処理	38.7	248.3	590.3	902.3

2015年 宮城県農業・園芸総合研究所
【試験概要】
品 種：もういっこ 発生状況：多発生
定 植 日：9月17日 処 理 日：9月13日
処理方法：ポリポット(径7.5cm)植のイチゴ苗に所定濃度の供試薬剤をポットあたり50mlとなるように植物体上からジョウロで灌注処理。
調査方法：各区10株の全複葉について、有翅及び無翅虫数を調査。葉害は各調査時に肉眼で観察。



トンネル内の作業は生産者の大きな負担になっている

祝 63 回全国野菜技術研究会 群馬大会

急上昇 複合耐病性 高品質かつ多収

シャキッとおいしく 食味抜群



ハウス 9~10月定植
及び1月中旬以降~3月定植



ハウス2~8月下旬定植

キュウリ メロン カボチャ育種



埼玉原種育成会

〒346-0105 埼玉県久喜市菰蒲町新堀2616
TEL 0480-85-0854 FAX 0480-85-0407

トヨタネはGPEC2018に出展します

GPEC
Greenhouse Horticulture &
Plant Factory Exhibition / Conference
施設園芸・植物工場展

施設園芸の新しいカタチが動き出す

2018.7.11(水)~13(金)

東京ビッグサイト 東1ホール
小間番号：D-39/H-39

みどろ

プロファームの新たなカタチ

植物にとって最適な環境とは？

生産者にとっての安心とは？を、

原点に立ち返って考えました。

当日、ブースでお待ちしております！

デンソー共同開発
環境制御装置

Profarm



豊かさ実る、タネを。

トヨタネ株式会社

愛知県豊橋市向草間町字北新切 12-1

Tel:0532-46-3600

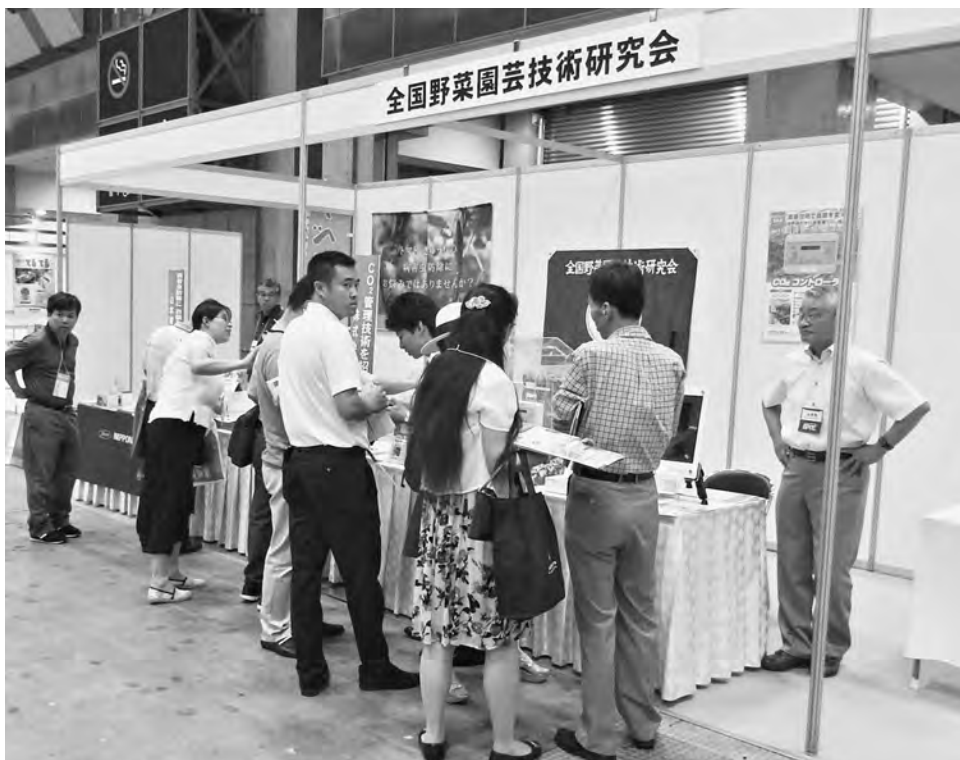
http://www.toyotane.co.jp/



「ココバッグ」
土を使わない栽培システム



前回の「GPEC2016」会場内のもよう(写真右下も)



過去最多 234社の出展

5回目となる今回は、テーマを「見える・稼げる」に絞れる「稼げる」これからの施設園芸」に設定。栽培環境のデータ化・可視化、

GPEC

Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference
施設園芸・植物工場展

7月11～13日

施設園芸・植物工場展 2018(GPEC)開催 見える・稼げる・稼げる施設園芸技術を紹介

(一社)日本施設園芸協会(鈴木秀典会長)は、7月11～13日の3日間、東京ビッグサイトで「施設園芸・植物工場展2018(GPEC)」を開催する。

出展者数は過去最多の234社・団体。このうち63社が初出展となる。

分野別には、生産性改善・向上の手段として関

心が高まっている環境計

測・制御関連技術の出展

者数が前回の2倍に増え、温度・湿度・CO₂制

御による光合成増大技術

をはじめ、AIを活用し

た病害予測技術の出展も

予定している。

作業の省力化・自動化

の分野では、座って収穫

できる電動台車や無人防

除機からアシストスー

ツ、熱中症対策技術を紹

介。人工光型植物工場向

けるLEDランプ、室内

上下の温度差を解消する

空調システム、栽培用パ

ネルの蒸気消毒システム

など、最新の技術が紹介

される。

また、海外からの出展

者も増加し、国際的な交

流が期待されている。

会場では、最新の技術

を紹介するだけでなく、

最新の技術を紹介する

だけでなく、最新の技

術を紹介するだけでなく

、最新の技術を紹介す

るだけでなく、最新の

技術を紹介するだけで

なく、最新の技術を紹介

するだけでなく、最新の

技術を紹介するだけで

なく、最新の技術を紹介

するだけでなく、最新の

日本施設園芸協会 会長に 鈴木秀典氏が就任

GPECへの意気込み語る

(一社)日本施設園芸協会は6月1日に開いた平成30年度定時会員総会・理事会で役員改選を行い、新会長に鈴木秀典氏(株大仙会長)を選任した。



GPEC記者発表会に臨む鈴木新会長

18日のGPEC記者発表会で鈴木会長は、「今回で開催5回目を迎えるGPECは、施設園芸と植物工場に特化した専門展示会として生産者をはじめ全国の農業関係者に高い評価をいただいている。今回も非常に多くの

企業に出展いただき、来場者の方と積極的な交流が行われることを期待している」

「GPECの最大のターゲットは、この産業を支える生産者を定める。農業の発展には、生産者の利益を確保することが不可欠。今回の来場者は4万2千人を目標にしている」

「わが国の農業、施設園芸に目を向けると、栽培面積や就労人口が減少し

技術や産地の取り組み事例報告、研究者による先端技術の解説、海外の最新施設園芸動向を紹介する主催者セミナー、出展者による新資材・新品種のプレゼンテーションも行われる。

各企業のブース以外にも「見える」環境制御技術、「はかどる」次世代農業ロボットを特集する主催者コーナーが設けられる。

期間中は、施設園芸農家・法人の経営・管理・

目標の下、様々な工夫を凝らしている。開催は施設園芸農家が来場しやすい閑散期にあたる7月、2年に1度のサイクルに設定した。農家に対して企業から常に新しい製品を紹介・提案する場として来場者からも、毎回新しい発見があると高い評価をいただき、今回の来場者は4万2千人を目標にしている」

「わが国の農業、施設園芸に目を向けると、栽培面積や就労人口が減少し

「見える」環境制御技術「はかどる」次世代農業ロボットを特集する主催者コーナーが設けられる。

施設園芸の未来に触れる 主催者コーナーも

GPECでは、出展者の中からこれらの施設園芸で注目の分野を特集する主催者コー

ナーが設けられる。

「見える」環境制御技

術コーナーでは、ハウ

ス内の環境制御技術に

ついて、デモンストレ

ーションなどを実施。

▼参加企業・ネボン、

トヨタネ、星光社環境

デザインラボ、ニッポ

ー、渡辺パイプ、セラ

ク、誠和。

「はかどる」次世代農

業ロボットコーナーで

は、栽培・収穫・梱包

といった農作業の省力

化を推進するロボット

を紹介する。▼参加企

業・団体・ヤンマーグ

リーンシステム、有光

工業、井関農機、立命

館大学。

水省、経産省、農林中

金他。

「話せる」生産者相談

コーナーでは、栽培技

術や補助金等の制度、

GAP取得、融資等に

関する生産者・参入希

望者の相談を受け付け

る。▼相談員…(補助

金)農水省生産局(栽培

高軒高ハウスの 高所・低所の栽培管理作業に！

ビックマウンテン

土耕・レール併用型作業台車

- 自動走行機能は走行速度を調整可能！
- レールの敷設・撤去も簡単！
安定した走行で高所作業の恐怖感を低減します！

仕様	
最大許容荷重	100kg
奥行	1182mm
幅	678mm
高さ	2535mm
作業台サイズ	約400×1000mm
作業台高さ	最大1800mm 最小400mm 10cm間隔
バッテリー	形式40B19L×2 電圧24V
モーター出力	150W
駆動方式	後輪チェーン駆動

全農

持ち運びできる農産物ディスプレイ台 「マルシェキット」を発売〈JA全農〉 軽量・丈夫な段ボール製で組み立てても簡単



折りたたんで持ち運び（上）
「マルシェキット」の展開例（左）

JA全農は、イベント会場などの対面販売や農産物販売促進活動の商品ディスプレイに使用する

野菜園芸 NEWS

「マルシェキット」の販売を開始した。

マルシェキットは、段ボール製で持ち運びができる組み立て式の什器。

軽量で丈夫、組み立て・片付けが簡単、持ち運ぶ時はコンパクトに折りたためることが特徴。全農が平成23年から延べ120回開催している「みどり

みのるマルシェ」などで得た販売ノウハウと、段ボールメーカーのレンゴの加工技術を融合して共同開発した。

キットは、農産物や農産加工品など商品を並べるトレイ（箱）と、トレイを載せる台の組合せ。トレイを前傾して縦に3段配置できるアーム台セット、高さ70cmのテーブル台セット、高さ50cmの平台セットの3種類がある。

トレイと台の表面は木板調の仕上げで暖かみがあり、採れたての野菜や果物の鮮やかな色を引き立てる。

全農では、「マルシェキット」を通じて、近年増加しているJAや生産者による農産物イベントの開催を支援する」と話す。

発売を記念して7月6日までの期間、通常価格の1割引で販売するキャンペーンを実施する（7月末までに納品予定）。

購入の問い合わせは、全農生産資材部包装資材課・電話03-6271-8002。

毎月19日は 「いいきゅうりの日」(4月を除く) きゅうり主産県JA県連・東京青果が 販促呼びかけ

毎月19日が「いいきゅうりの日」(4月を除く)として日本記念日協会の記念日に登録された。申請したのは、宮崎や群馬、福島、高知など全国のきゅうり主産県のJAグループ(21のJA、13の県連)と東京青果で結成した「いいきゅうりの日プロジェクト」。今後、毎月19日に低力ローで美味しく、さまざまな料理に活用できるきゅうりの消費拡大を図る。

記念日は、JAグループによる全国きゅうり主産県会議で発案され、4月を除いた毎月19日を「1(い)い9(きゅう)り」と読む語呂合わせとして設定した。4月19日をJAあいち経済連の西三河冬春きゅうり部会が「良いきゅうりの日」として登録しているため重複を避け、日々の出荷量増減が大きいきゅうりを産地リレーの良さを生かして効率よく販促しようとして、4月を除く毎月19日の登録を行った。

いいきゅうりの日はプロジェクトに参加していないJAや、スーパーなどの小売店でも使用でき、すでに東京青果では販促用のPOPや資材などを準備している。

プロジェクトに参加するJAの担当者は「きゅうりはメジャーな食材だけに、販促やレシピ開発が後手に回っている。高齢者の漬物需要だけでなく、若者をもっと取り込みたい」3～5月は出荷量が増えるが、需要が少ないため低価格になりがち。そこを販促によって伸ばし、生産者の所得向上につなげたい」と話す。

年内早出しに適した 宮城県のイチゴ新品種 「にっこにこベリー」



「にっこにこベリー」
(右)
高設栽培のようよう
(下)



宮城県が育成したイチゴ新品種「にっこにこベリー」は、同県育成の「もめ」の交配により誕生した。年内早出しに適し、全体収量も多い品種。「もういっこ」の多収性と、年内出荷ができる「とちおとめ」の早生性を合わせ持ち、夜冷栽培ならば9月上旬の定植で11月中旬から収穫できる。果実は硬く輸送性に優れており、果肉まで鮮やかな赤色で、さわやかな味。

「にっこにこベリー」は、2020年産からの本格生産を目指し、今秋から親株の販売を開始する。宮城県は「今後面積を増やし、県内のイチゴを宮城県オリジナル品種に変えられるように、栽培面から支援していく」と話す。

養液栽培・高設栽培における収量性の良さも特長で、東日本大震災からのイチゴ産地復興で養液・高設栽培の整備がすすんでいることから、その特性が生かされることも期待される。

宮城県内のイチゴ生産は「もういっこ」と「とちおとめ」の2品種で約9割を占め、最近では「もういっこ」の割合が増加しており、県内のクリスマス需要向けの生産量が減少していた。

自動巻上げ換気装置

電動カンキット®

楽々
換気

ハウスサイド・タニ
カーテンの巻上げにも！

4種の開閉操作
自動 リモコン
タイマー 手動

電動カンキット制御盤Ⅱ 電動カンキットトランス盤Ⅱ 電動カンキットタイマー盤



ダブルアーチ専用金具

トートラス®

トラス構造で強化 耐荷重 1.3~1.4 倍 耐風 37m/s (当社試験結果)





2日目に現地のハウスを視察（昨年のもよう）

魅力あるきゅうり経営に向けて取り組む生産者、技術者、企業が一堂に集う第2回「全国きゅうり養液栽培サミット」が10月18・19の両日、徳島県海陽町阿波海南文化

村文化館で開かれる。昨年に続き2回目。徳島県海陽郡は歴史ある促成きゅうり産地の維持発展のために、他地域からの新規就農者定着を図る「きゅうりタウン構

第2回 「全国きゅうり 養液栽培サミット」 10月開催へ

野菜園芸 NEWS



昨年開かれた第1回全国きゅうり養液栽培サミットのもよう

想」に取り組んでいる。このサミットは、移住就農にむけた先進事例について情報交換するともに、「きゅうり養液栽培」技術確立に向けた取り組みを加速化させ、次世代に向けた園芸産地の展開を図るもの。

新規就農と安定多収技術の 事例を情報交換

主催は、徳島県の実波町・牟岐町・海陽町・かいふ農協・南部総合県民局で構成する「海部次世代園芸産地創生推進協議会」。一般社団法人農林水産業みらい基金、全国野菜園芸技術研究会（＝全野研）、㈱農協観光が後援する。

今回は、1日目に養液栽培や新規就農に関する事例報告とパネルディスカッション、2日目には安定多収技術の実験ハウ

スの事例報告と、現地のハウス視察を行う。予定している事例報告は、「高収量を実現！環境にやさしい養液栽培」(新潟県総合農業研究所)、「環境制御技術での養液栽培」(東京都農林総合技術センター)、「佐賀県トレニングファームの新規就農者事例について」(佐賀県)。

パネルディスカッションを、「次世代技術に挑戦する若者に対する支援(仮題)」と「魅力ある農業の実現にむけたきゅうり養液栽培技術の確立」の2つのテーマで実施する。

詳しい開催内容は今後全野研のホームページでも案内する。

農水省は、4月から共済責任期間が開始する園芸施設共済で適用する掛金率の算定方法を見直した。

生産者の負担を軽減しようと、NOSAI団体保有する積立金の水準に応じて共済掛金の引き下げ幅を大きくする。

棟数の多いプラスチックハウスⅡ類(パイプ)の本体部分の基準共済掛金率は2・394%と12・9%低下し、プラスチックハウスⅢ類(鉄骨)は1・104%で6・8%低下する。

また、今年4月に農業保険法(旧・農業災害補償法)が施行され、31年1月から始まる収入保険制度の導入や、従来の農業共済制度の見直しが行われた。

そのなかで園芸施設共済制度は、1農家あたりの掛金の国庫負担は、共済金額8千万円までを限

園芸施設共済の 掛金など見直し

〈農水省〉

生産者の負担軽減・ サービス向上へ

さらに従来、共済金の支払い対象となる被害については、園芸施設1棟ごとに3万円または共済価額(資産価値)の10%超としていたが、サービス向上の一環として、加入時に、被害が3万円以上(または共済価額の5%、10万円以上、20万円以上のいずれかを選択でき、それに応じた掛金と

なる。

また、被害が3万円以上(または共済価額の5%、10万円以上、20万円以上のいずれかを選択でき、それに応じた掛金と

なる。

なる。

園芸施設共済の概要

園芸施設共済の対象

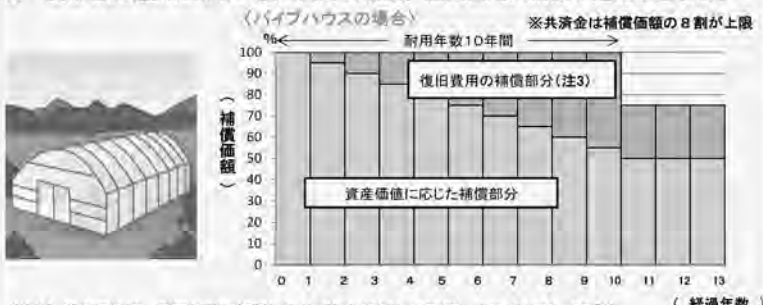
- ガラス温室、ビニールハウス、雨よけ施設等
- ※ 農業者の選択により、附属施設、施設内で栽培する農作物も対象にできます。(ただし、収入保険に加入する場合は、施設内農作物は園芸施設共済の対象にできません。)

補償期間

- 共済掛金の支払日の翌日から1年間

主な補償内容

- 施設が損害を受けた場合に、施設の資産価値(注1)の8割を上限に共済金を支払います(注2)。
- ※ 農業者の選択により、復旧費用の補償、撤去費用の補償も追加できます。



共済掛金(1年間分)、共済金の試算例(10a当たり)

(19mmパイプハウス、耐久性軟質フィルム(被覆後1年未満)、付保割合8割)

	設置後4年経過の施設 (資産価値276万円)		設置後10年経過の施設 (資産価値222万円)	
	本体のみ	本体 + 復旧費用	本体のみ	本体 + 復旧費用
農業者が支払う共済掛金	26,429円	28,957円	21,258円	24,418円
半損になった場合に支払われる共済金	110万円	125万円	89万円	107万円
全損になった場合に支払われる共済金	220万円	250万円	178万円	214万円

※ 共済掛金には国の補助があります。上記「農業者が支払う共済掛金」は、国が補助した後の農業者の実負担額です。

(30、6)

施設園芸農業者の皆様へ

近年、台風や大雪などの自然災害が多発しています。農業用ハウスは経営に不可欠な生産施設です。今後も起こり得る自然災害等に備えて、公的な保険制度である農業保険に加入しましょう！

農業保険では、掛金の原則50%（収入保険の積立金は75%）を国が負担します。

〔 災害対策は、農業保険への加入が基本です。特別な対策は、過去に例のないような甚大な気象災害が発生した場合に限られます。 〕

セットでの加入をお勧めします！

<園芸施設共済>

- 自然災害等で農業用ハウスや附属施設が損壊した場合に補償します。
- 共済掛金は1.2%程度（パイプハウスの本体の全国平均）です。
- 農業用ハウスを所有又は管理する農業者が対象です。

<収入保険>

H31年1月から
スタート！

- 自然災害や価格低下などで、農産物の販売収入が減少した場合に補償します。
- 保険料率は1.08%（50%の国庫補助後）です。
- 青色申告をしている農業者が対象です。

平成30年4月から補償が拡充されました！

- ◆ パイプハウスの本体の共済掛金が全国平均で約1割下がりました。また、危険段階別の共済掛金率により、共済金の支払の少ない農業者の掛金は更に下がります。

- ◆ 被覆材(農ビ、農POの一部)の補償価額を上げました。



詳しい内容については、お近くの農業共済組合へお問い合わせください！

農林水産省

全野研賛助会員

(50音順)

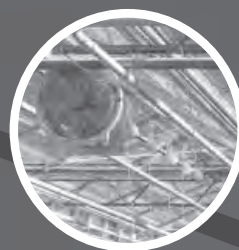
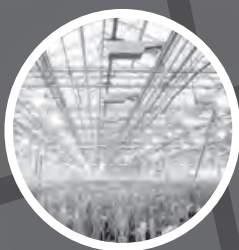
新規会員絶賛募集中！

詳しくは全野研HPまで

<http://www.zenyaken.com/>



アグリワークス(株)	343-0041 埼玉県越谷市千間台西4-14-22	TEL 048-975-0380 FAX 048-933-9221	養液（土耕）栽培用肥料各種（無機、有機） 各種垂リン酸肥料等
アグロカネショウ(株)	359-0024 埼玉県所沢市下安松852	TEL 04-2003-7004 FAX 04-2003-7302	農業類、土壌分析事業（化学性・生物性分析）
朝日工業(株)	367-0394 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222	TEL 0274-52-6304 FAX 0274-52-4534	種苗（トマト・キュウリ）
(株)檜木産業	289-1226 千葉県山武市横田1069-32	TEL 0475-89-1444 FAX 0475-89-1450	農・園芸用アイデア資材
AGC グリーンテック(株)	101-0032 東京都千代田区岩本町3-10-4寿ビルディング4階	TEL 03-5833-5451 FAX 03-5833-5457	被覆資材
エフエムシー・ケミカルズ(株)	100-0004 東京都千代田区大手町1-1-1大手町パークビル8階	TEL 03-5208-1010 FAX 03-5208-1012	農業
(株)エス・ディー・エス バイオテック	103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-5 ビューリック東日本橋ビル	TEL 03-5825-5511 FAX 03-5825-5504	農業
OAT アグリオ(株)	101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビル8階	TEL 03-5283-0255 FAX 03-5283-0259	肥料、農業、栽培システム
(株)加藤工業所	322-0033 栃木県鹿沼市府所町20	TEL 0289-65-3121 FAX 0289-65-3124	肥料、微生物資材、土壌改良材
カネコ種苗(株)	371-8503 群馬県前橋市古市町1-50-12	TEL 027-251-1611 FAX 027-290-1086	種苗、養液栽培施設、各種温室及び農業、 被覆配合肥料
(有)木紅木	970-1153 福島県いわき市好間町上好間100	TEL 0246-36-5016 FAX 0246-36-2314	土壌改良材、“木紅木キクノール®”、キトサン液
(有)グリーン化学	334-0013 埼玉県川口市南鳩ヶ谷6-15-5	TEL 048-212-3800 FAX 048-700-3200	液体肥料、植物活性液の製造販売
(株)久留米原種育成会	830-0064 福岡県久留米市荒木町藤田1422-1	TEL 0942-26-2943 FAX 0942-26-3235	種苗（キュウリ）、肥料
(株)久留米種苗園芸	834-0016 福岡県八女市豊福長原1226	TEL 0943-24-2747 FAX 0943-24-2721	種苗（キュウリ、ニガウリ、トマト、スイカ、台木）
(株)埼玉原種育成会	346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616	TEL 0480-85-0854 FAX 0480-85-0407	種苗（キュウリ・メロン・台木カボチャ）
埼玉農工幾料販売(株)	347-0116 埼玉県加須市戸室225	TEL 0480-73-5718 FAX 0480-73-0619	肥料
(株)サカタのタネ	224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台2-7-1	TEL 045-945-8802 FAX 045-945-8803	野菜花種子セルトップ苗及び農業資材
シンジェンタジャパン(株)	104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX21階	TEL 03-6221-3866 FAX 03-6221-3898	殺虫剤、殺菌剤、除草剤、野菜・花卉の種子
(株)生科研	861-2401 熊本県阿蘇郡西原村烏子312-4	TEL 096-279-4450 FAX 096-279-4451	肥料（液肥）、土壌改良材
大興貿易(株)	163-0705 東京都新宿区西新宿2-7-1	TEL 03-3346-9761 FAX 03-3346-9755	肥料
ダウ・アグロサイエンス日本(株)	140-8617 東京都品川区東品川2丁目2-24 天王州セントラルタワー	TEL 03-5521-2829 FAX 03-5521-2470	農業（殺虫剤、殺菌剤、除草剤、土壌くん蒸剤）
タキイ種苗(株)	600-8686 京都府京都市下京区梅小路通猪熊東入	TEL 075-365-0123 FAX 075-365-0133	種苗・農業資材
タキゲン製造(株)	141-0031 東京都品川区西五反田1-24-4	TEL 03-3494-0010 FAX 03-3494-0037	農業資材、設備部品
タキロンシーアイ(株)	108-6031 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟	TEL 03-6711-3700 FAX 03-6711-3826	被覆資材（農PO・農ビ）、農業資材（誘引具）、 止め具（バツカー）、灌水チューブ
(株)TMR	101-0054 東京都千代田区神田錦町3-15	TEL 03-3219-5351 FAX 03-3219-5680	無農業、葉面散布剤、土壌改良材、関連資材、 炭酸ガス発生機コントローラー
東海物産(株)	512-0923 三重県四日市市高角町2997	TEL 059-326-3931 FAX 059-326-6758	農業資材他
東罐興産(株)	105-0013 東京都港区浜松町1-2-14	TEL 03-5472-5111 FAX 03-5472-5115	被覆資材（フィルム）、農業資材（樹脂製品）
東京インキ(株)	114-0002 東京都北区王子1-12-4 TIC王子ビル	TEL 03-5902-7627 FAX 03-5390-4932	農業資材全般
東都興業(株)	104-0031 東京都中央区京橋1-6-1三井住友海上テプコビル	TEL 03-3566-0210 FAX 03-3566-0202	農業資材（ビニベットEX・カンキット・ レインベット・ティベットドアEX他）
トキタ種苗(株)	337-8532 埼玉県さいたま市見沼区中川1069	TEL 048-683-3434 FAX 048-684-5042	種苗、農業資材
(株)ときわ研究場	355-0167 埼玉県比企郡吉見町田甲1087	TEL 0493-54-1155 FAX 0493-54-1332	種苗（キュウリ・台木カボチャ）
トヨタネ(株)	441-8517 愛知県豊橋市向草間町北新切12-1	TEL 0532-45-4137 FAX 0532-45-4494	種苗、環境制御装置、栽培システム、 ハウス、その他資材
ナスニックス(株)	326-0334 栃木県足利市下渋垂町688	TEL 0284-70-0505 FAX 0284-73-6279	農業資材（誘引具）
日本曹達(株)	100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル	TEL 03-3245-6054 FAX 03-3245-6084	農業
日本ノーデン(株)	101-0032 東京都千代田区岩本町2-10-11	TEL 03-3861-6331 FAX 03-3864-7144	農電ケーブル、温度自動調節器
日本モウルド工業(株)	446-0056 愛知県安城市三河安城町2-20-1	TEL 0566-76-3101 FAX 0566-76-1120	農業資材 （トマト輸送用パルプモールド）
日本ワイドクロス(株)	582-0001 大阪府柏原市本郷3-784	TEL 0274-50-3303 FAX 0274-50-3250	農業資材（防虫ネット、防草シート、 遮光・遮熱ネット等）
ネポン(株)	243-0215 神奈川県厚木市上古沢411	TEL 046-247-3269 FAX 046-247-3184	施設園芸用温風暖房機、ヒートポンプ、温水ボイラ、 複合環境制御装置
ベルグアース(株)	798-3361 愛媛県宇和島市津島町北灘甲88-1	TEL 0895-20-8231 FAX 0895-32-6183	野菜苗
丸善薬品産業(株)	101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-9-2神田徳力ビル6階	TEL 03-3256-5561 FAX 03-3256-5570	農業（除草剤・土壌消毒材他）、肥料 （葉面散布剤他）、農業資材全般、種苗
丸和バイオケミカル(株)	101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2須田町佐志田ビル	TEL 03-5296-2314 FAX 03-5296-2322	農業及び農業資材
みかど協和(株)	267-0056 千葉県千葉市緑区大野台1-4-11	TEL 043-311-6200 FAX 043-205-5501	種苗（トマト含む野菜種子）、培土、土壌改良材
三井化学アグロ(株)	103-0027 東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイヤビルディング	TEL 03-5290-2708 FAX 03-3231-1176	農業
三菱ケミカル アグリドリーム(株)	103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-2-2	TEL 03-3279-6200 FAX 03-3279-6757	農業用被覆材（農ビ、農PO、農PET）、 生分解性マルチフィルム、農業用不織布かん水資材
(株)村田農場	791-0314 愛媛県東温市南野田734-1	TEL 089-964-8469 FAX 089-964-0406	種苗全般
ワタナベ産業(株)	720-0403 広島県福山市沼隈町下山南1407	TEL 084-987-4100 FAX 084-987-3534	特殊肥料（液体）、土壌改良材



GPEC

施設園芸・植物工場展

Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference

「見える!」「穫れる!」「稼げる!」 ～施設園芸のこれから～

2018年7月11日(水)～13日(金)
東京ビッグサイトで2年ぶり開催!

品質向上、収量増大、
作業効率化につながる
機器・資材など、
多彩な製品・実演が
目白押し!

2年に1度、“稼げる
農業”を実現するため
の提案、最新情報が
ここから続々発信!

事前来場登録受付中
(登録無料)
詳しくはWebサイトを
チェック!

展示会最新情報、事前来場登録はこちら

www.gpec.jp

会場：東京ビッグサイト 東1・2ホール

開場時間 10:00～17:00

主催：一般社団法人 日本施設園芸協会

後援：農林水産省、経済産業省、全国農業協同組合中央会(JA全中)、全国農業協同組合連合会(JA全農)、
農林中央金庫、(一社)全国農業会議所、(公社)全国農業共済協会、(株)日本政策金融公庫(順不同)

共催：アテックス 株式会社

入場料：1,000円(税込) ※Web事前登録者・招待券持参者は無料

同時開催：スマートアグリ・ソリューション(相互入場可)